

林業イノベーションハブ構築事業（拡充）

【令和6年度予算概算決定額 39,000（39,000）千円】

<対策のポイント>

先進技術の調査、林業事業者や異分野企業等が参画するプラットフォームの構築・運営、自動化・遠隔操作技術に関する安全性確保のルールづくり、地域へのコーディネーター派遣や取組成果の横展開等を実施します。

林業イノベーションハブセンター（森ハブ）

調査・方策検討機能

<先進技術調査>

- 異分野や海外を含む先進技術の開発状況調査、林業分野への導入・開発の実現性検討等

<推進方策検討>

- 有識者委員会において、イノベーションを推進するための森ハブの機能等について検討

<地域の取組・展開支援>

- 地域の課題・ニーズに合致した取組を支援するために、コーディネーターを派遣
- 地域の取組状況を把握・評価、発信し、取組成果を横展開

マッチング・プロジェクト支援機能

<プラットフォーム構築・運営>

- 林業事業者や異分野企業等の参画を呼び込み、**情報交換・マッチングに向けた取組を実施（拡充）**
→ 林業イノベーションに関心の高い**組織・人材が集積し、交流が活性化**



- 新たな製品・サービス、それらの導入効果等の情報を交換
- 現場ニーズにマッチした**新技術**の探索を容易にし、**普及を加速**

- 林業現場の技術開発ニーズ、機械メーカー・異分野企業等の強み・技術を共有
- 現場ニーズに即し、異分野技術を取り入れた**開発・実証プロジェクトを組成**

- 関係者間の合意形成が必要な課題については、WGの立ち上げを支援

→ 林業イノベーションに必要な検討・協議を会員主導で実施

WG

WG

WG

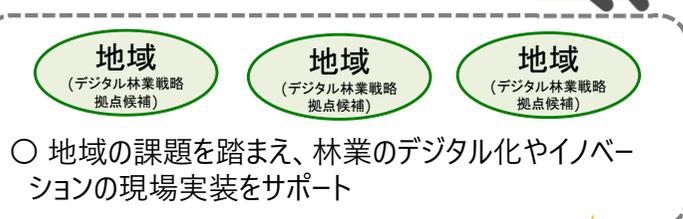
- 自動化・遠隔操作化技術の安全性については、**国が検討会を設置し、ルールづくりを実施（新規）**

(遠隔操作技術の例)



(成果のイメージ)

自動・遠隔操作林業機械の安全性確保ガイドライン



コーディネーター



<事業の流れ>

